

# ながの金融広報だより

参加無料

&lt;参加証必要&gt;

## 金融経済講演会のご案内

長野県金融広報委員会が主催する金融経済講演会を次の要領により開催します。皆さんのが参加をお待ちしています。

日 時 2022年11月2日(水) 13:30~15:00

会 場 ホテルメトロポリタン長野

講 師 落語家 林家彦いち氏

演 題 「伝統芸能に学ぶ幸せな暮らし～幸せに生きるためのヒント～」

定 員 100名 (先着順。定員になり次第締め切ります)

募集期限 2022年10月21日(金)

応募方法 ①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号(平日昼間に連絡可能な先)を明記のうえ、はがき、FAX、Eメール、または当委員会ホームページから、お申込みください。

宛て先 〒380-0936 長野市岡田178-8  
日本銀行長野事務所内 長野県金融広報委員会「講演会K」係  
FAX: 026-223-0128 E-mail: info@nagano-money.com (件名: 講演会K)  
URL: <https://hagano-money.com>

\*お送り頂いた個人情報は、当講演会関係事務以外に使用することはありません。

### 【感染症対策】

本講演会は新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催します。ご来場の際のマスクの着用、手指の消毒、検温などにご協力をお願いいたします。

## 「くらし塾きんゆう塾」を差し上げます



当委員会の中央組織である金融広報中央委員会では、広報誌「くらし塾きんゆう塾」を季刊発行(1、4、7、10月)しています。

「くらし塾きんゆう塾」は、身近な金融知識の解説や役立て方のアドバイス、有識者のインタビュー、金融教育の実践紹介、実際に起きた金融トラブル事例の紹介など、くらしに役立つ情報が満載です。

内容は金融広報中央委員会の「知るぽるとホームページ」でもご覧になれます。冊子をご希望の方は事務局までお問い合わせください。



### 【プロフィール】

1969年7月3日生まれ。鹿児島県出身。1989年に国士館大学文学部を中退し、初代林家木久蔵(現・木久扇)門下へ入門。1993年に二ツ目に昇進。2002年に真打昇進。現在までに数々の賞を受賞し、新作の落語も数多く手がける傍らで、海外での英語で落語会にも精力的に参加。

## 金融教育に関する研究校を募集しています!

当委員会では、地域の子供達が将来役立つような知恵や知識を育む、お金(金融・経済)に関する幅広い学習を支援しており、その一環として、概要以下の要領で、金融・金銭教育研究校の募集を毎年度行っています<sup>※1</sup>。

現在、2023年度の研究校につきまして、募集しておりますので、興味をお持ちの学校関係者の方は事務局までお気軽にお問い合わせください。



委嘱内容	生徒・児童・幼児を対象に、それぞれの発達段階に応じた、金融教育 <sup>※2</sup> または金銭教育 <sup>※3</sup> の具体的な実践およびその効果的な方法の研究・報告
委嘱期間	原則年度単位・2年を基本
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育研究費の助成(金融学習にかかるセミナー等への参加費や交通費、外部講師等の謝金・旅費、図書・資料等の購入費等)</li> <li>②資料の提供(金融教育の実践指導書、生徒用ワークブック等の無償提供、DVD、ビデオテープの貸出等)</li> <li>③講師の派遣(特別授業等への金融広報アドバイザーや当委員会事務局員の無償派遣)</li> <li>④研究・実践計画立案の支援(当委員会事務局員や金融広報アドバイザーがサポート)</li> </ul>
応募方法	2023年2月末までに「金融教育研究校申込書」を長野県金融広報委員会事務局に提出

<sup>※1</sup>過去5年度の委嘱実績: 17校(小学校6校、中学校7校、高校4校)

<sup>※2</sup>金融教育には、①生活設計・家計管理、②金融や経済の仕組み、③消費生活・金融トラブル防止、④キャリア教育の4分野がある。

<sup>※3</sup>金融教育のうち、特に、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力を点をおいたもの。

### コラム 信州の風

## 信州・長野県に赴いて

長野県金融広報委員会 事務局長(日本銀行長野事務所長) 山城 吉道

善光寺御開帳の終盤、本年6月に当地に赴任し、長野県金融広報委員会事務局長に就任しました。

当地のイメージとしては、旅行で訪れた際の雄大な自然が強く心に残っていましたが、赴任後の生活や挨拶回りを通じ、改めて、当地が地域色豊かな風土、歴史、文化等の魅力溢れる地であることを実感しています。

当地は、「教育県長野」とも言われますが、金融教育の面におきましても、「金融リテラシー(お金の知識・判断力)」は、全国トップクラスに位置付けられています。

本年7月に金融広報中央委員会より公表された「金融リテラシー調査」(2022年)では、長野県は金融リテラシーに関する正誤問題の正答率が47都道府県中5位となりました。今回が3回目の調査となります。2016年以降3年おきに実施されたいずれの調査でも常に上位を維持(第1回7位、第2回2位)しています。こうした成果は、金融教育の裾野の広がりの証左であり、関係するすべての皆様の継続的な取組みの賜物だと感じています。

この「金融リテラシー」は、2008年に起こった世界金融危機の教訓として国際的にも注目が集まるように

なりました。その後、2012年のG20ロスカボス・サミットの首脳宣言において、各国が戦略的かつ計画的に国民各層への金融教育に取り組むことの重要性が強調され、2019年に日本が議長を務めたG20財務省・中央銀行総裁会議では、金融リテラシーの強化が優先的に対処すべき政策課題と位置付けられました。

今や、国内でも「人生100年時代」とも言われる超高齢化社会が到来し、本年4月の「成年年齢引き下げ」により18歳というその世代の多くがまだ高校生の時期から自立した契約当事者としての判断と責任が問われる時代になり、金融リテラシーの重要性は増す一方です。

今回調査で全国5位の当地でも、「正当率(得点)8割超の高リテラシー者の割合」や「家計を切盛りする世代の正答率」が相対的に低いことや、「金融トラブル経験者比率」が比較的高い点をみると、これまでの歩みを止めることなく、さらなる高みを目指していくことが肝要だと思います。

当委員会では、引き続き、金融リテラシーのさらなる向上・普及教育活動に取り組んでまいりますので、皆様のご活用・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

## 長野県金融広報委員会

【事務局】 〒380-0936 長野市岡田178-8(日本銀行長野事務所内)  
TEL: 026-227-1296 FAX: 026-223-0128  
E-mail: [info@nagano-money.com](mailto:info@nagano-money.com) URL: <https://nagano-money.com>

